

# 乳酸菌生成エキス・レポート Vol. 2



発行：NPO 法人レックス・ラボ 東京都八王子市館町 196-5  
TEL・FAX/042-666-0073 E-mail/info@lex-lab.com

## Dr. インタビュー：

## 在宅医療における『乳酸菌生成エキス』の役割

近年、在宅医療は、高齢者医療の需要の増加や医療制度改革ともなう療養病床の見直しなどから、そのニーズが高まっています。

今回は、千葉市で外来診療とともに在宅医療にも力をそそぎ、地域医療に貢献されていらっしゃる武田クリニック院長・武田恒弘先生に、「在宅医療における『乳酸菌生成エキス』の役割」というテーマでお話をうかがいました。

武田先生は、西洋医療のみならず、東洋医学の漢方薬や薬効食品・健康食品を併用した「補完代替医療治療」も取り入れ、それぞれの患者さんにあった治療をされていらっしゃいます。



### —先生が在宅医療で診ていらっしゃるの、どんな患者さんですか？

8割が寝たきりの方です。ほとんどが脳血管障害で、認知症を伴った方も多いです。胃ろう処置の方や精神障害の方もいらっしゃいます。

### —先生が患者さんに『乳酸菌生成エキス』サプリメントを積極的にお勧めしている理由を教えてください。

まず、私自身の体感があったからです。飲み始めて早い段階で、口腔内の状態が良くなり歯垢が取れ、口の中が劇的に変わったのに驚きました。そして、おなかの状態もよくなり「この商品はちょっと違う」と感じました。そこで、自分の患者さんにも薦めるようになったのです。

また、寝たきり状態の多い在宅患者さんの場合、運動や食事に不自由されている方がほとんどで、胃ろうによる経管栄養の方もいらっしゃいます。そのため、消化管機能が低下し、腸内環境が悪くなり、便秘や腹部膨満感を伴っている場合が多いので、在宅現場でも有効ではないかと思っています。



### —外来あるいは在宅で具体的にどんな症例がありましたか？

外来の患者さんでは、高齢の女性の方で、おなかの調子が悪く膨満感と放屁と排便が多い方に、『乳酸菌生成エキス』おすすめしました。すると、すっかりおなかの調子が良くなり大変喜ばれていました。もう1年以上飲まれていますね。

また、中年女性の鬱の方で、腸の調子が悪い方にも飲んでいただきました。その方の場合、鬱の症状はある程度回復傾向でしたが、『乳酸菌生成エキス』の飲用で腸の調子がよくなり、表情の雰囲気もずいぶん良くなりました。

精神障害や鬱の方には、抗精神薬など薬の影響もあると思いますが、便秘の方が多く、そういった方にお勧めすると、やはり調子が良くなっていました。脳腸相関という概念がありますがまさにそれだと思います。

あと最近では、経管栄養をされている在宅患者さんにも推奨しています。

経管栄養では、栄養的バランスは計算されていま

すが、咀嚼がなく唾液が関与しないため、消化管がうまく動いてない状態です。無理やり栄養を入れているわけですから、健全な腸内環境が作られない可能性が高いわけです。咀嚼運動がない、唾液がないだけでなく、蠕動運動が弱い、加工食品中心の理由から良い腸内細菌叢が作られません。

また、経管栄養では、口から食物は入らないものの、歯の汚れがひどく、歯肉の状態が良くない場合も多いのです。最近、歯周病と全身疾患との関連性が歯科でのトピックになっていますが、口腔内が汚いと唾液と共に細菌が肺に流れて肺炎を起こしやすい状態になります。

『乳酸菌生成エキス』の飲用は、腸内環境改善とともに、誤嚥性肺炎などのリスクも結果的に下げられるのではないかと考えます。

#### 一在宅の認知症の患者さんで改善の症例があったとお聞きしましたが。

この患者さんは、以前からおなかに膨満感がでると調子が崩れ、認知症特有の攻撃行動が発症し、暴れてしまい周囲の人に迷惑をかけてしまう方でした。そこで、家族の方とも相談して『乳酸菌生成エキス』のサプリメントを摂取してもたったところ、おなかの不快感が軽減し、以前のような攻撃行動が激減しました。ご家族が大変喜ばれた事例です。

#### 一認知症と便秘の関係性について教えてください。

ベテランの看護婦さんにはよく知られていることですが、認知症の周辺症状(BPSD※注①)の原因が「便秘」であるケースが多いのです。

例えば徘徊や不安・焦燥感やパニック症状、不穏や攻撃的行動等の根本的な原因が「便秘」と多に関係があることは事実です。大声を発して騒ぐ認知症の人に、下剤や浣腸で便秘を解消してあげると落

※注① BPSDとは、『Behavioral and Psychological Symptoms of Dementia』=「認知症に伴う行動障害と精神症状」行動障害には攻撃性、大声、不穏、焦燥性興奮、徘徊、不適切な行動、性的脱抑制、収集癖、暴言、弄便、つきまといなどがあり、「心理学的な症状」には幻覚、妄想、せん妄、不安、抑うつ、意欲障害などがあります。

ち着くということは、経験的に知られています。下剤や浣腸の頻用は対症療法的ではありますが、一時的な問題解決にはなりません。ですから、日ごろからの『排便コントロール』が大変重要なのです。



#### 一患者さんだけではなく、介護をする周囲の方々にも、メリットがあるとお聞きしましたが。

そうですね。在宅医療においては、排便処理や排便の悪臭の問題は、要介護者、介護者、双方にとって大変おおきな問題です。排便処理は毎日のことですので、『乳酸菌生成エキス』サプリメントを活用することで、かなり負担を軽減できるかと思います。

#### 一保険診療内での乳酸菌製剤を使用するほうが、経済的には良いはずですが、それでもサプリメントの『乳酸菌生成エキス』を患者さんにおすすめするのは、なぜですか？

保険診療内の治療で良い結果が出れば一番ですが、医薬品の乳酸菌製剤では『乳酸菌生成エキス』のような結果が期待できないからです。もちろん、皆さんそれぞれのお財布事情があるとおもいますので、患者さんと相談しながらおすすめするようにしています。外来の患者さんだけではなく、在宅医療の要介護者の方も『乳酸菌生成エキス』は、積極的に飲んで頂きたいですね。

#### 一本日は、ありがとうございました。



**武田クリニック**

- 内科、外科、呼吸器科
  - 在宅医療、漢方外来、補完代替医療治療
- 〒263-0043  
千葉県千葉市稲毛区小仲台 2-12-2  
電話：043-290-8338  
FAX：043-290-8311

乳酸菌生成エキス・レポートは医療関係者向けに作成した資料です。